



福祉と文化の整った安心で 安全なまちづくりを目指します

平成17年度
施政方針から
池田町長



町民の皆様のご支援・ご協力を賜り、第四次総合計画に沿って各種事務事業が順調に進められておりますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

改革元年の年として、職員の意識改革等に取組みます

池田町新生へ向けてのスタートを切る平成17年度は改革元年としております。このための本年の施策をご説明しますと、

第四次総合計画後期事業見直し：国、地方を通じて厳しい財政環境の中にあつて、地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な行政運営が求められており、当町としても財政運営が求められており、当町としても計画の内容を再検討しながら、必要性・効果等を見極め、限られた財源を重点事業かつ効率的な予算配分に努めました。

行財政改革、全事務事業の総点検：国において地方分権や三位一体の改革が進められる中、より一層の行財政改革に取り組みむ必要があり、数値目標の設定等による行政運営の効率性・効果性の向上を図るとともに、分権時代にふさわしい人材の育成を図り、個性と工夫に満ちた自治行政の展開と住民自治制度の更なる充実に向け取り組みます。

少子化対策支援プロジェクト：昨年より取り組んでまいりました幼保一元化につきましては、就学前児童を保育園にて指導・保育を行いますし、温知保育園舎についても5月に完成させ、新しい保育園で保育をします。同時に児童館事業（6頁の用語解説を参照）も行います。

循環型社会形成システム構築：少しでもみを減らし、資源を無駄にしない循環型社会に向けて、全町的な課題として、町民、事業者、行政が一体となり、豊かな自然環境と快適な生活環境を将来の世代に残すよう取り組めます。

特色ある教育システムプロジェクト（保育園、小学校）：子ども達が、社会体験・自然体験活動などの豊かな体験活動を通じて、社会性・倫理観・正義感・感動する心・生命を尊重する心を持った人間に成長する事を願って、児童生徒の学習環境の整備を進め教育の持続と向上を図ります。

活性化対策（企業誘致、観光交流産業）の推進：我が国の景気が厳しい中で、中小企業者や消費者行動の変化に対応できる体制を池田町商工会を中心として推進し、企業及び商業活動が有効にできるよう推進すると同時に、環境保全・継承を主眼においた、西濃圏域という広域的な視点で、豊かな自然や文化、池田温泉の地域特性を資源として活用し、自然や社会を含めた地域が健康になる地域住民及び来訪者の交流拠点づくりとしてのソフト面の充実を図ります。

以上の6本の柱を中心に限られた財源の中、新しい年度に向かって、福祉と文化の整った安心で安全な池田町のまちづくりを目指し、町民の皆様との話し合いを深めながら誠意を持って全力を挙げ取り組んでまいり所存でありますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の予算規模

区 分	平成17年度予算	平成16年度予算	伸び率%(減)
一般会計	69億7,900万円	82億9,300万円	15.8
特別会計	53億4,020万円	54億5,470万円	2.1
国保特別会計	16億9,900万円	16億7,900万円	1.2
老人保健特別会計	18億9,600万円	18億5,950万円	2.0
北部簡易水道事業特別会計	9,360万円	7,750万円	20.8
南部簡易水道事業特別会計	8,480万円	7,000万円	21.1
農業集落排水事業特別会計	3億2,670万円	3億3,340万円	2.0
公共下水道事業特別会計	9億1,960万円	11億1,570万円	17.6
温泉施設特別会計	3億2,050万円	3億1,960万円	0.3
予算総額	123億1,920万円	137億4,770万円	10.4
水道事業会計			
収益的収入	2億4,968万円	2億5,254万円	1.1
収益的支出	2億3,281万円	2億3,735万円	1.9
資本的収入	595万円	920万円	73.4
資本的支出	8,694万円	8,112万円	7.2